

新湾岸道路検討会準備会（第1回） の開催結果概要

令和5年6月21日（水）

国土交通省、千葉県、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、市原市、浦安市及び東日本高速道路(株)の9者は、今回の準備会の設立趣旨と規約の案に対し異議なく決定のうえ、以下のとおり意見交換及び確認した。

■千葉県湾岸地域の交通状況（現状と課題）について

- 船橋市～千葉市の一般道路（国道357号）と高速道路（東関東道、京葉道路）の総交通量は、交通容量を超過していること
- 湾岸地域は、広範囲で渋滞損失が大きく、平均旅行速度が低いこと
- 湾岸地域の全車合計では国道14号、16号は湾岸地域とその他地域、国道357号は湾岸地域内の移動が最も多くなっていること
- 千葉港の機能強化や周辺の開発計画に伴い、今後、周辺道路で交通需要の増大が見込まれること

■千葉県湾岸地域の道路整備について

- 高まる交通需要へ対応するため、これまでも立体交差や交差点改良等の渋滞緩和対策を実施していること
- 『千葉県広域道路交通ビジョン千葉県広域道路交通計画(R3.6 千葉県)』において、第二東京湾岸道路を軸とした新たな規格の高い道路ネットワークが「高規格道路」に位置づけられていること

■今後の進め方について

- 新湾岸道路検討会準備会において、概略ルート・構造の検討に向けて、体制の議論を行うこと
- 計画の具体化を図るための体制や地域住民等からの意見聴取の方法などプロセスのあり方について議論すること